

平成二十八年城下町「からつ」俳句コンクール応募句総評

第二十一回を迎えた平成二十八年城下町「からつ」俳句コンクールは、三百二十二名の方から三百二十六句の応募を頂きました。

唐津を訪れて投句を頂いた観光客の地域は、北は北海道から南は沖縄まで広範囲に亘っており、その中でも九州地区が圧倒的に多く、次いで関東地区、中国地区、中部地区、四国地区の順となっています。

投句をされた方の年齢は若年層の二十代、三十代が百二十名と最も多く、次いで六十代、七十代の六十六名、四十代、五十代の六十二名、十代の六十一名、八十代の十三名と幅広い年齢層からの投句を頂きました。中でも二十代、三十代の若年層からの投句が多かった事は特記すべき事だと思います。

投句された方の性別は、男性百五十六名(四十八%)、女性百六十六名(五十二%)になっています。

俳句を詠まれた場所は、唐津城(特に天守閣)からの眺望が圧倒的に多く、次いで玄界灘の蒼茫、唐津城周辺並びに城内地区近郊の四季、虹の松原、唐津の秋祭(供日)、曳山展示場、旧高取邸、高島の宝当神社など広範囲に及び、特に呼子の烏賊の活造りはグルメ嗜好の観光客に喜ばれたようです。

現在までの応募数の推移は、平成八年初回の五百七句から平成十二年の七百四十九句をピークに、平成二十三年までは三百句を下らぬ投句を頂いていましたが、平成二十四年から平成二十七年に至る四年間、二百句弱と応募数の減少が見られました。これは、天守閣石垣修復工事等に依る一部周遊制限に起因する観光客の減少と思われましたが、平成二十八年の応募は三百二十六句と投句数に回復の兆しが見られたのは喜ばしい事です。工事が完成し、舞鶴城が美しい全容を見せる日を市民及び観光客と共に待ちたいと思います。

平成二十九年一月

選者 日本伝統俳句協会 評議員

ホトトギス同人・花鳥・同人

唐津観光俳句会会長 田邊虹志 記